

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
 代 表 取 締 役 社 長 吉 永 正 紀
 (コード番号：3856 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 : 管 理 部 長 福 島 正 悟
 電 話 : 0 3 - 6 8 6 4 - 4 0 0 1 (代 表)

業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 6 月期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）において、平成 29 年 8 月 31 日に公表いたしました平成 30 年 6 月期通期連結業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 6 月期通期連結業績予想値と実績値の差異

平成 30 年 6 月期 通期連結業績（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|--------------|------------|------------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 7,246 | 百万円 810 | 百万円 731 | 百万円 438 | 円 銭 84.55 |
| 実績値(B) | 7,300 | 855 | 803 | 709 | 136.71 |
| 増減額(B-A) | 54 | 45 | 72 | 271 | |
| 増減率(%) | 0.7 | 5.6 | 9.8 | 61.8 | |
| (ご参考)前期実績 (平成 29 年 6 月期) | 6,495 | 115 | 48 | △175 | △34.48 |

2. 差異の理由

太陽光発電事業において、主にソーラーパネル及び関連製品の販売が好調に推移し、売上高が当初予想を上回りました。そして、その売上において、主に採算性が高い販売案件の増加およびコスト低減策として工事原価を圧縮することができたことに伴い、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が、いずれも当初予想を上回りました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を上回ったことについては、平成30年3月9日に開示した「子会社の清算終了に関するお知らせ」のとおり、Realcom U.S., Inc. の清算終了により、法人税等の額の減少効果が生じたことも一因であります。

以 上